

HIT-KIT PROJECT

エジソン倶楽部

電気電子工学科

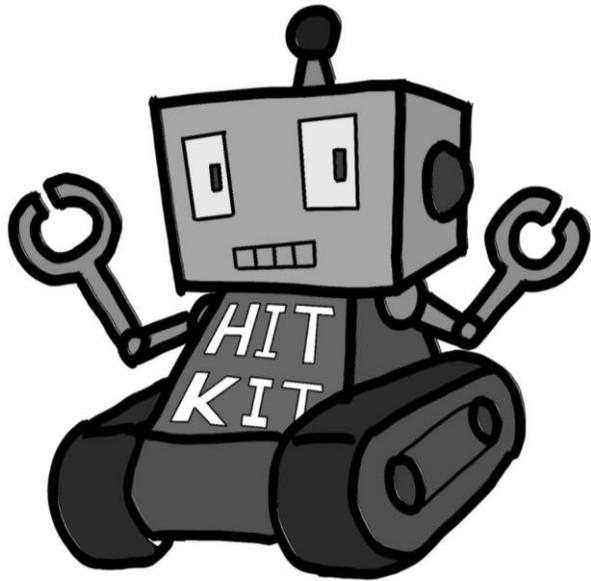
2年 二又龍平

栗澤一行

越姓靖雄

3年 赤松笙太

4年 桂田晃明



HIT - KIT PROJECT

目標と概要

- ・「中学校ロボコン兼市民ロボコン」への出場およびロボット教室の開催、運営。
- ・他にも、八戸では様々なロボコンが行われている
例えば・・・
発明クラブロボコン、げんねんジュニアロボコン、
高校ロボコン、高専ロボコン、ETロボコン

八戸に根付くロボコン文化！

八戸のロボコンを活気づけたい！

- ▶ ロボコン参加者の増加
- ▶ 大会のクオリティを上げて認知度を上げる



ロボコン文化および八戸の地域振興

昨年度のノウハウを生かして、ロボット教室でのロボット作りの指導、地域の方々との交流。

ロボット教室の開催

- ▶ 開催日 12月15日
- ▶ 12月22日
- ▶ 1月26日
- ▶ 2月2日
- ▶ 2月15日 計5回

| | |
|----|-----------------|
| 時間 | 13時30分 ~ 16時00分 |
| 会場 | 八戸市児童科学館 工作室 |
| 対象 | 大会参加者 |
| 内容 | ロボット製作の補助、アドバイス |

ロボット教室の成果

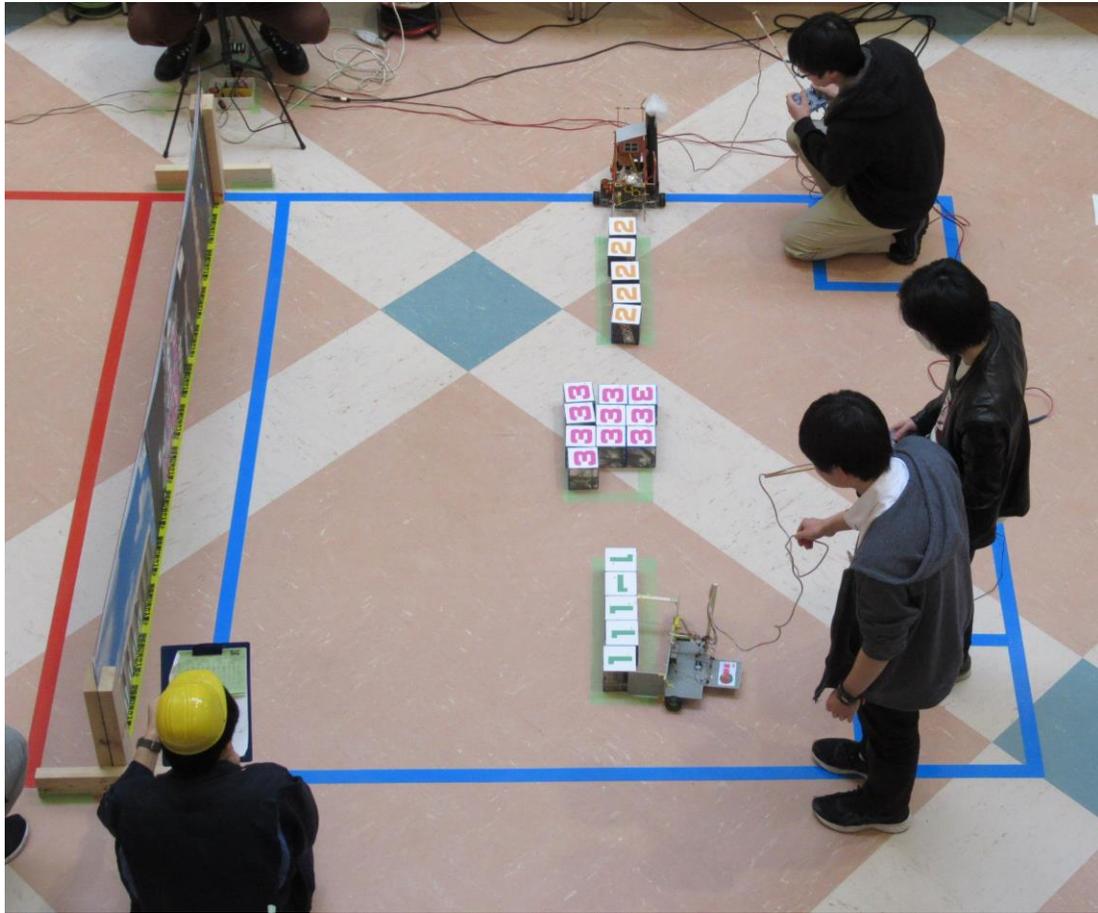
(ロボコン運営と合同での開催)

- ▶ 参加者は回によってばらつきがあったが、小学生から老人の方まで多くの年齢層の方が参加してくれた。
- ▶ こちらからの技術提供だけでなく、ロボットの機構やアイデアにおいてこちらも学ぶものがあった。
- ▶ もっとロボット教室の回数を増やして欲しいと要望があった。

その他の活動

- ▶ メンバーの八戸少年少女発明クラブの活動へのボラティア
 - ↳ 年間活動およびクラブロボコンの補助
- ▶ 計測自動制御学会東北支部 研究集会での発表
- ▶ 八戸工業大学学園祭にて
学長賞（学科研究展示部門）を受賞
- ▶ 2月23日「はちのへ工場ロボコン」に出場 第1位
- ▶ 大会後にインタビューを受け、
翌日2月24日にBeFMでラジオ放送された

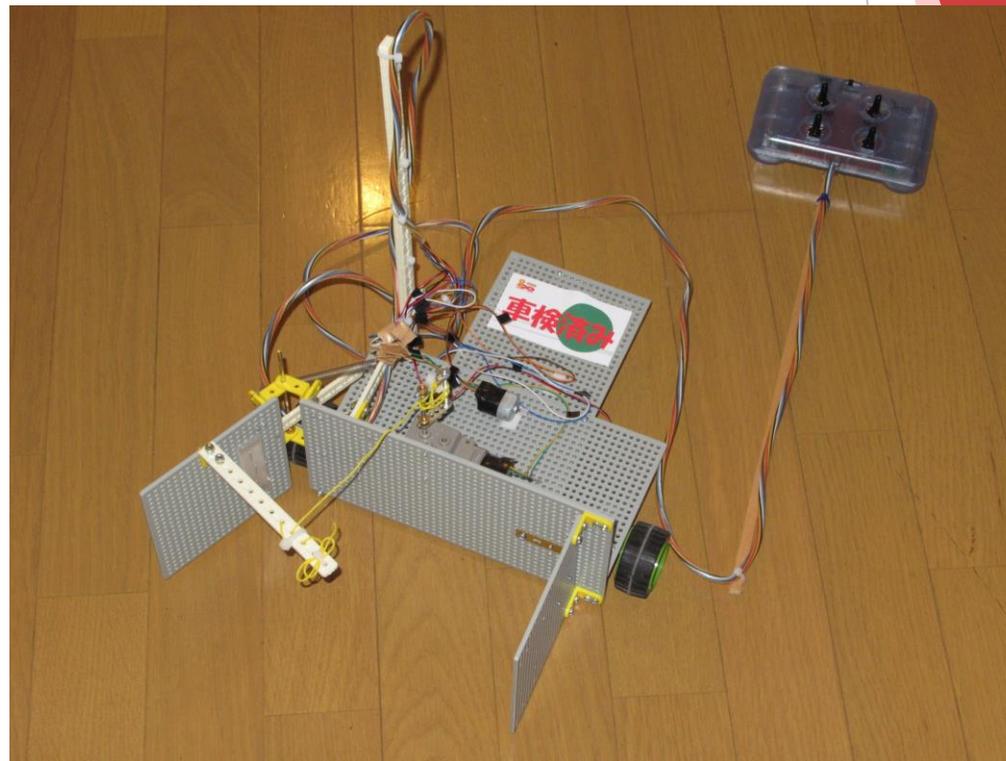
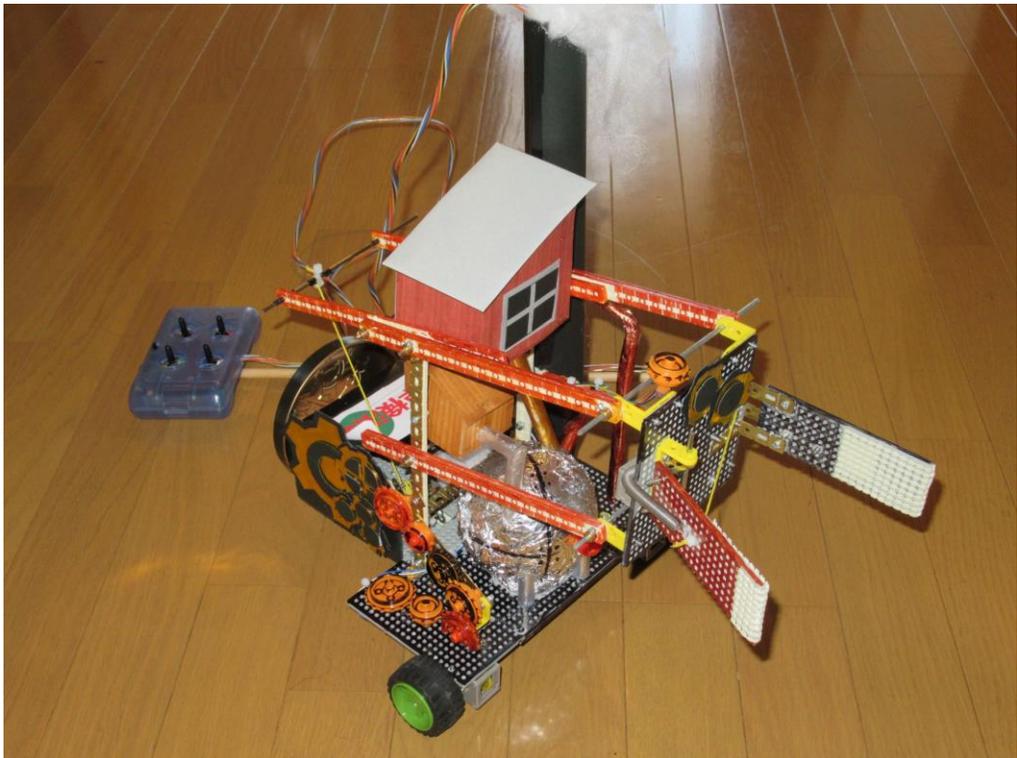
八戸工場ロボコンの様子



参加した子ども達との交流



大会で使用したロボット



活動全体の考察

▶ ロボコン参加人数

多くなつたとは言えなかった。

ルールの改定など、参加しやすくする必要がある。

今回は冬期期間のみのロボット教室だったため、

年間を通して開催したい。

▶ 大会のクオリティー

昨年度に比べてレベルの高い大会だったと感じた。

ロボットの完成度、操縦技術など。

▶ 指導および交流

こちらが学ぶ事の方が多く、とても勉強になった。

地域の方々との交流は良い経験となった。この輪を広げていきたい

今後の展開、活動

- ▶ 来年度のロボコン運営への参加
- ▶ ロボット教室の開催

謝辞

本プロジェクトにご協力して下さった、
大学教職員の皆様および八戸市少年少女発明クラブ職員の皆様、
その他すべての関係者様に感謝申し上げます

ご清聴ありがとうございました